

# 読賣新聞

2016年(平成28年)

6月28日 火曜日

36面

## 焦点 参院選 2016

今回の参院選は、発足から3年半が経過した安倍政権が信任されるかどうかの焦点となる。いま、暮らしの場で、どんな課題が浮かび上がっているのか。まず、経済政策「アベノミクス」の現場を報告する。

大阪市福島区で建設中の高層マンション「リバーガイデン福島」(総戸数850戸)。モデルルームは週末になると、年配の夫婦や家族連れで混み合う。部屋によっては希望が殺到し、2倍の競争率という。

「リビングから大阪駅が見えるんです」。契約を済ませた男性(62)が、笑顔で新生活を描いてみせた。

男性は、大阪市内の運送会社の役員。持ち家はあがあるが、「老後は妻と広い家で暮らしたい」と、約7500万円する100平方メートルの部屋を購入した。

男性が1992年に作った会社は、バブル崩壊などの荒波にもまれながら成長を続け、特に近年は好調という。「多くの会社の業績が伸び、経済活動が活発になったから、顧客の新規開拓が進んだ。アベノミクスのおかげだと思う」と景気回復を感じている。

その感覚は、このマンションの事業主「リバー産業」

# アベノミクス 明暗

## マンション建設ラッシュ

(大阪市中央区)の担当者も同じだ。3月に第1期(260戸)の販売を始めると、月内に完売した。「経済に明るい兆しを感じているお客さんは多く、購買意欲も高い」と話す。

大阪市では今、都心回帰の波も受け、大型マンションが競うように建てられている。不動産経済研究所によると、2015年の全国の発売戸数のうち、首都圏で51・8%、近畿圏で24・2%を占める。住居スペース1平方メートルあたりの価格は、全国平均で65・4万円と、バブル期に迫る。

同研究所の笹原雪恵・大阪事務所長は「安倍政権に

モデルルームを訪れた夫婦。都心部では活況を呈している(大阪府大阪市福島区で) 井利恵子撮影

### 日経平均株価と買上げ状況の推移

※買上げ状況は連合の発表資料による

